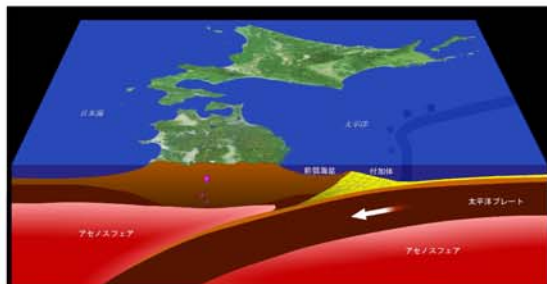
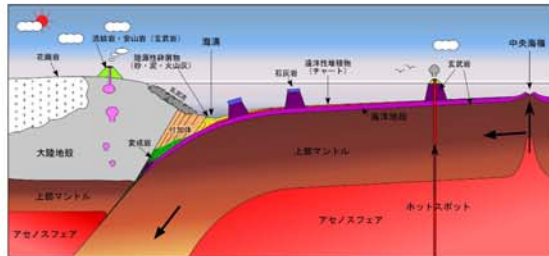


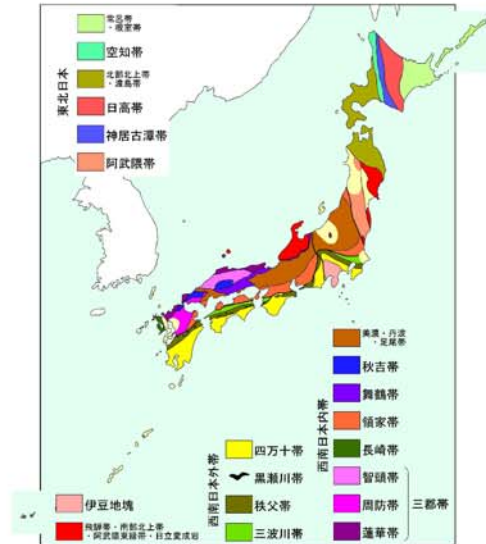
日本列島というパズルを解く

ここ20年ほどで、日本列島の大部分が「付加体」でできていることがわかってきました。

そして、従来は岩石の年代や質によって、日本列島はこのように分けられてきました。↓



上：「付加体」形成のモデル図
下：東北日本に平成中の付加体（想像図）



日本列島の地質概略図

しかし、それらがどのような関係になっているのか、はたまた本当にその分け方が正しいのか…問題を提起するようなデータが近年出てきています。

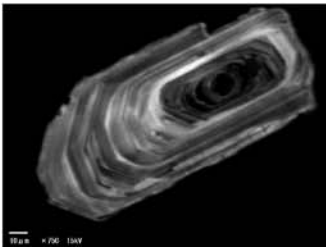
それらのデータから、より正しい「日本列島の形成史」を構築することを目指しています。



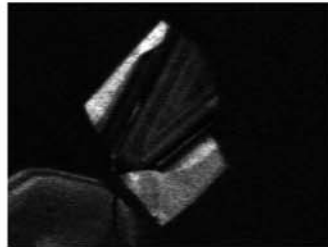
堆積岩から取り出したジルコンの粒



サンプル採取中



関東山地・三波川帯から見つかった白亜紀のジルコン。三波川帯ってジュラ紀の付加体だったのでは？



富山県・宇奈月の花崗岩から見つかった37億年の年代を示すジルコン。「日本最古の鉱物」の記録更新か？



真冬の礼文島にて

堤 之恭 (つつみゆきやす)
地学研究部鉱物科学研究グループ研究員
熊本県出身
博士 (理学) (広島大学)



「十字石結晶片岩」の露頭。かなりの山奥。